

令和8年3月24日
(2026年)

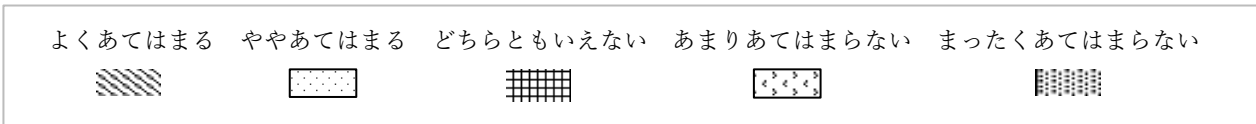
保護者の皆様

吹田市立山田中学校
校長 丹羽 佳与

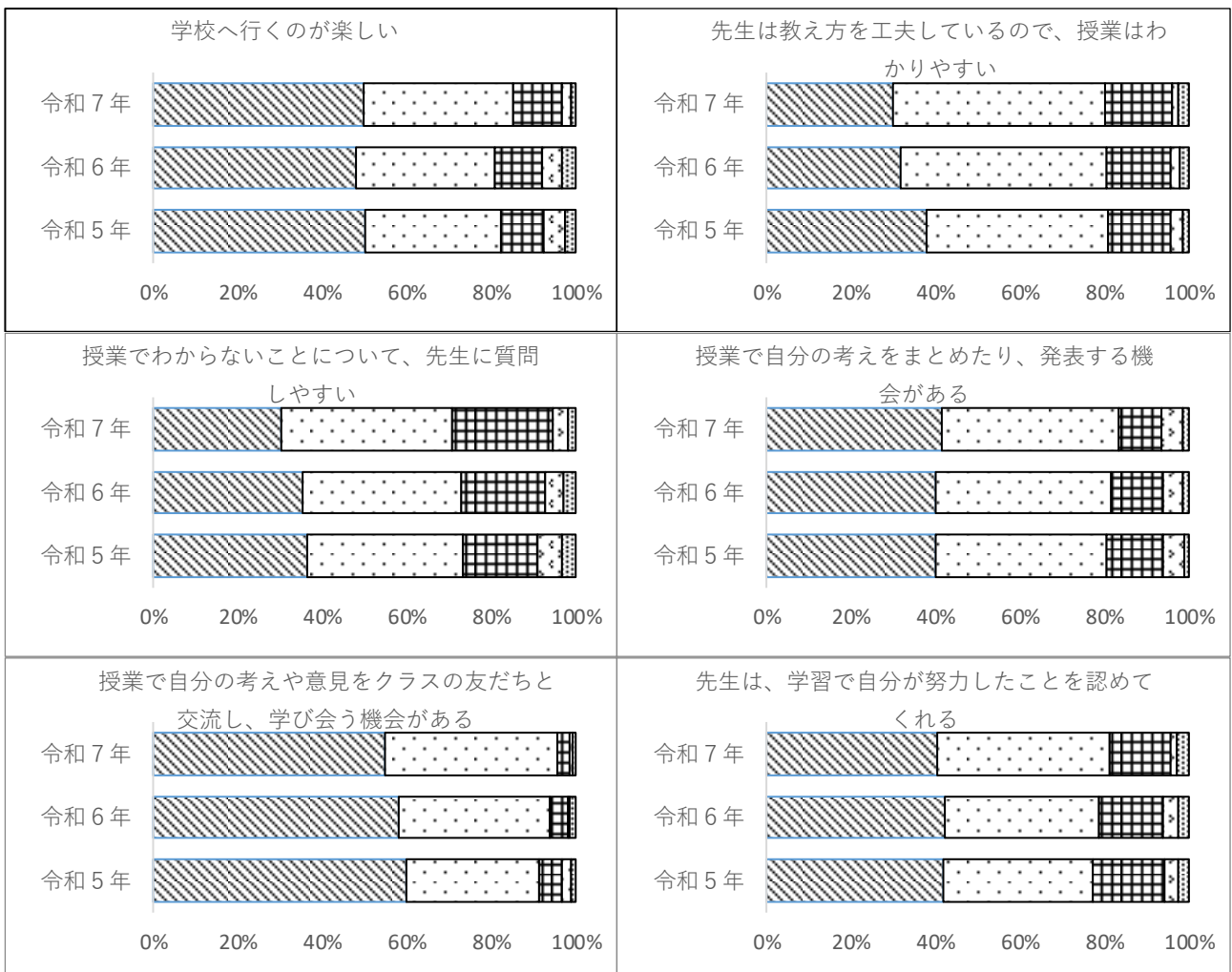
学校教育アンケート結果について

仲春の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。平素は、本校の教育活動にご理解、ご協力いただき厚くお礼申し上げます。

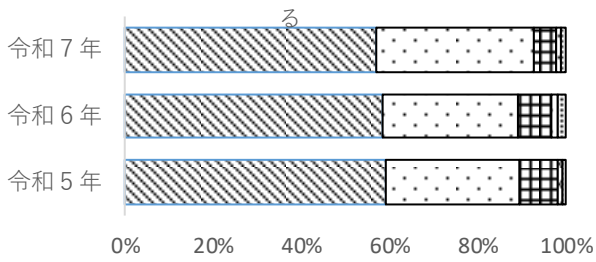
さて、昨年12月にご協力いただきました学校教育アンケートの集計が終わりましたのでお知らせいたします。アンケート結果は教職員で共有させていただき、今後の教育活動の充実に活用してまいりますので、よろしくお願い申し上げます。



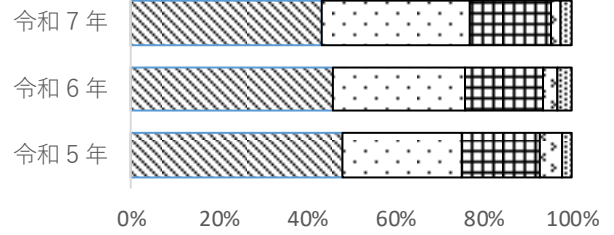
Ⅰ 生徒アンケート結果



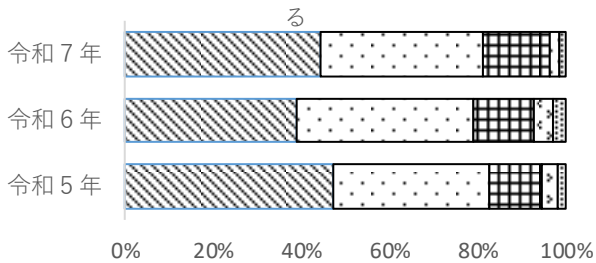
評価の仕方や基準について事前に示されてい



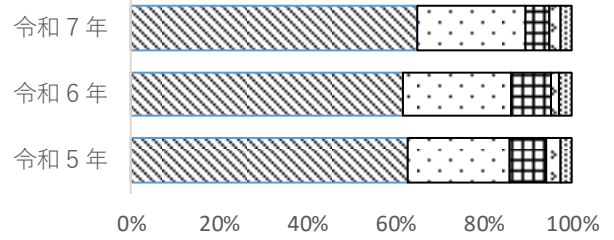
先生は、いじめ等私たちが困っている事について対応してくれる



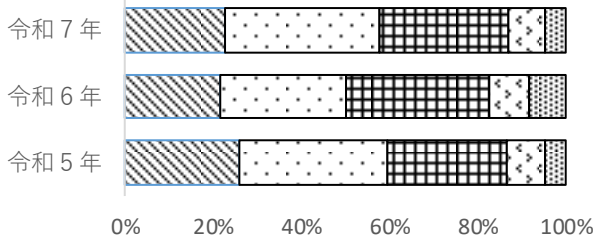
将来の進路や生き方について考える機会があ



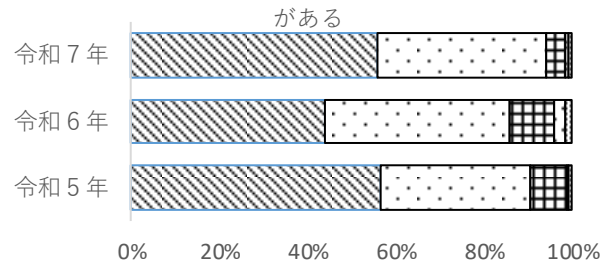
学校行事は楽しみである



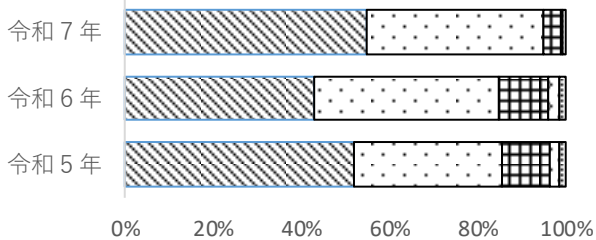
生徒会活動は、活発である



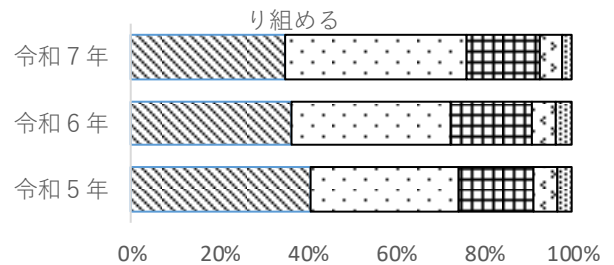
命の大切さや社会のルールについて学ぶ機会



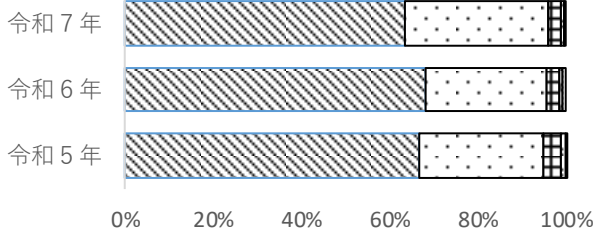
人権について学ぶ機会がある



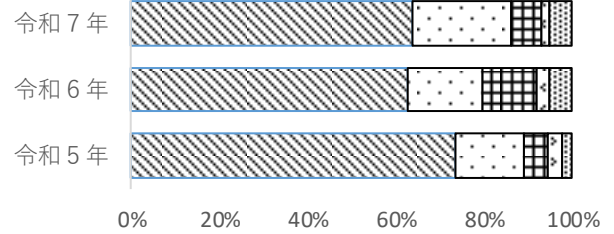
総合的な学習の時間は興味をもって楽しく取



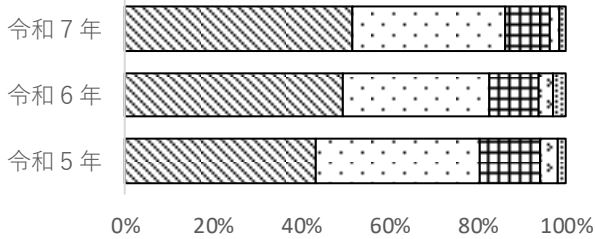
学校で、事件・地震や火災などが起こった場合、どのように行動したらよいか知らされている



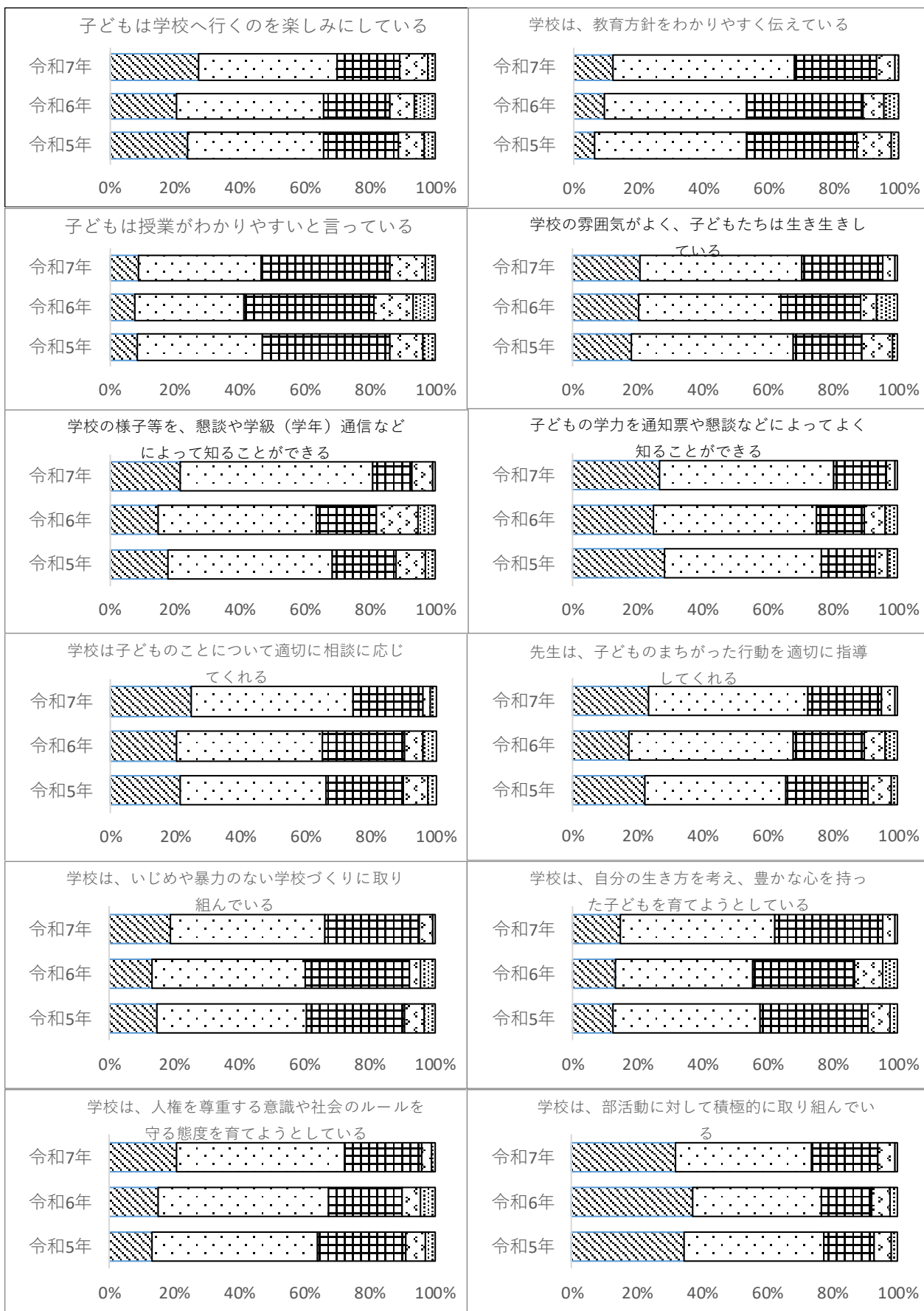
部活動に対して積極的に取り組んでいる

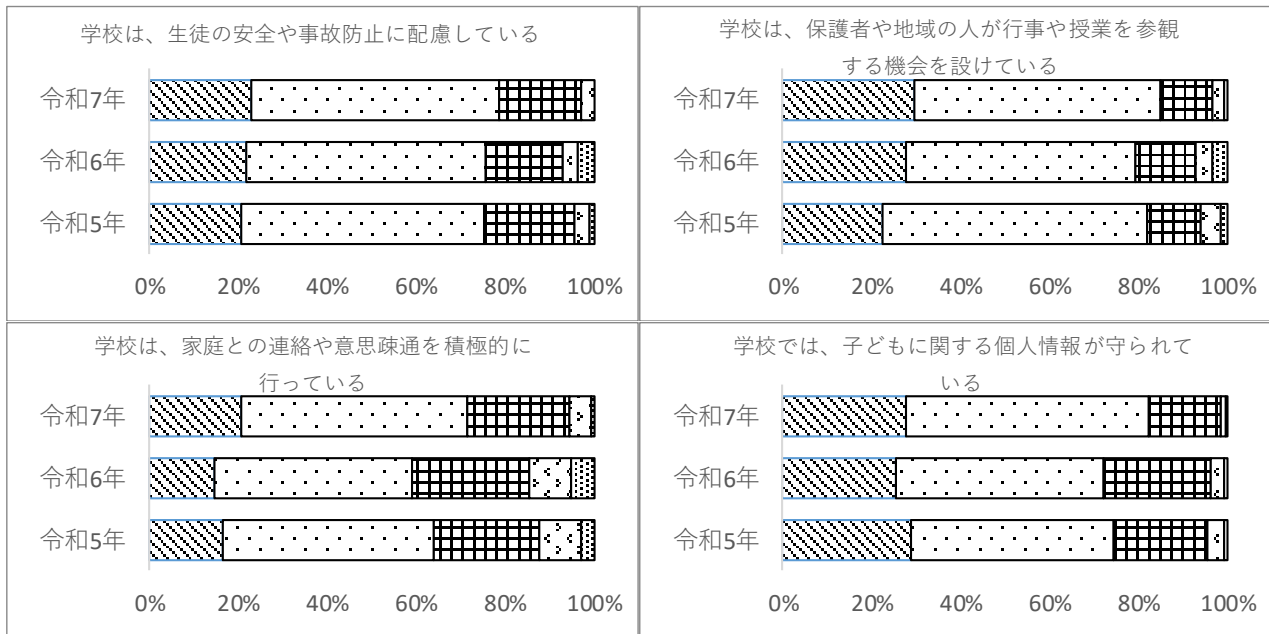


パソコンを用いた授業はわかりやすい



2 保護者アンケート結果





3 結果分析

吹田市立山田中学校 令和7年度 学校経営方針

『あいさつ・学び・笑顔あふれる学校づくり』～未来に夢や希望を持てる子どもの育成～

1. 学びを未来社会に生かすことのできる生徒の育成

- (1) 学びが深まる授業づくり
- (2) 『主体的・対話的で深い学び』の実現をめざした授業づくり
- (3) 未知の状況に対応できる『思考力・判断力・表現力』の実現をめざした授業づくり

2. 豊かな人間性をはぐくむ人権教育の推進

- (1) 違いを認め合い、人権を尊重し、他人を思いやる心の育成
- (2) 相手の立場に立って考えることのできる生徒の育成
- (3) 教職員の人権意識、人権感覚を高める研修の実施

3. 地域・保護者から信頼される学校づくりの推進

- (1) 小中連携による系統的・継続的な教育活動
- (2) 学校・家庭・地域の連携
- (3) 教職員の資質・能力の向上

本アンケートでは質問項目を同一のものとし、経年比較を行えるようにしております。また、令和5年度から、生徒アンケートに新たな質問項目「パソコンを用いた授業はわかりやすい」を加え、GIGAスクール構想以後、情報機器の環境が一層充実し、その活用と成果(わかる・できる)を把握することを目的としております。

生徒アンケート・保護者アンケートとも、令和5年度からの3年間の経緯が見えるようにいたしました。

生徒アンケートにおいて、『学校へ行くのが楽しい』では肯定的回答が前年度より上回った。授業に関する内容は前年度と比較し、大きな変化は見られませんでした。『授業で自分の考えや意見をクラスの友だちと交流し、学びあう機会がある』では、肯定的回答が非常に高く、学校経営方針が示す「対話的で深い学び」につながるものと捉え、今後の授業づくりにも生かしてまいります。『先生は、学習で自分が努力したことを認めてくれる』の項目は年々上昇傾向にあり、生徒の「非認知能力の育成」や「自己有用感の向上」につながるものと捉え、肯定的回答がさらに向上するよう取り組ん

でまいります。また、『学校行事は楽しみである』でも、前年度を上回った。『命の大切さや社会のルールについて学ぶ機会がある』『人権について学ぶ機会がある』『事件・地震や火災などが起こった場合、どのように行動したらよいか知らされている』では、肯定的回答がそれぞれ約 95%と非常に高く、自他の人権を尊重することや自らの身(命)を守る意識が醸成されているものと考えます。

一方、前年度と比較し『授業はわかりやすい』がわずかに下回り、『授業でわからないことについて、先生に質問しやすい』も下回った。生徒の学びを深めるためにより一層の改善に努めてまいります。

保護者アンケートでは、『学校は、部活動に対して積極的に取り組んでいる』以外の項目で、昨年度を上回りました。

特に『学校の様子等を、懇談や学級(学年)通信などによって知ることができる』や『学校は、家庭との連絡や意思疎通を積極的に行っている』では、前年度を 10 ポイント以上上回っており、学校と家庭との連携が非常に大切であることを示していると捉えております。また、『学校は子どものことについて適切に相談に応じてくれる』も 9.2 ポイント上回っており、ご家庭での悩みなども学校と家庭が協力し、子どもたちの成長を支援できればと考えています。

下回った項目として『学校は、部活動に対して積極的に取り組んでいる』は吹田市の方針として、部活動の外部委託をすすめていることから今回の結果になったものと考えます。

以上の分析結果をもとに、生徒一人ひとりが大切にされ、安心して過ごせる学校、学びを深める授業づくりをめざすことや、生徒が主体となり行事や取り組みをすすめることで生きる力をはぐくむことをめざしてまいります。また、保護者の皆様の思いとして、学校の様子が見える・わかる、子どものことについて学校と連携をしていくことなど、学校と家庭の両輪で子どもの成長を見守っていかれたらと考えます。今後も引き続き本校の教育活動にご理解、ご協力いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

最後に、生徒アンケート、保護者アンケートの全質問における肯定的回答率(平均)は以下のとおりです。

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
生徒	81.9%	80.5%	83.9%
保護者	66.6 %	65.1%	72.1%